

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-16 受託設計・工事監理事業 □支援部門			ゼイムスコード及び個別事業名 受託設計・工事監理事業	
	主管課	道路整備課	関連課	世界遺産登録推進、産業振興課、文化財課、学校施設課等 技術協力	
分野名	道路整備				
目標 (目標値)	道路・河川・下水道関連施設以外の公共工事に係る事務効率の向上及び経費削減				
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考	
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)	
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯		
運営資源 状況	決算値	0千円	0千円		
	(国・県)				
	(負担金等)				
	(一般財源)	0千円	0千円		
	人員配置数	1.2人	1.1人		
	人件費	11,055千円	10,315千円		
協働の パートナー				指標と評価 指標 評価	
事務事業 運営経費	総事業費	11,055千円	10,315千円	◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退 目標値 実績値	
	市民1人当 りの経費	63円	58円	20年度	
	対象者1人 当りの経費			21年度	
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名			22年度	
				23年度	
				最終年度 (年度)	
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・依頼内容に対する理解度が低く、その調整に時間を要する案件や樹林管理等の実施時期に制約のある案件などのため、実施時期が年度後半に集中し、その処理及び対応に苦慮した。 ・次年度予算の概算見積りは、各課からの依頼が一定時期に集中することから、その処理及び対応に苦慮した。			
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	・建設工事施工取扱規程の対象とならない修繕費や調査委託費などの随意契約等で行える案件については、極力原課対応を要請した。その結果、職員の作業量の緩和が図れた。			
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・通常業務に携わりながら、他部署の技術的な相談及び予算の概算見積りなどに応じており、十分な対応が図れない状況にある。			
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・道路整備事業においては、都市再生整備事業(平成17から22年度、鎌倉駅及び大船駅周辺地区、道路整備事業費28億)を展開しており、他部署からの委任工事では腰越漁港改修整備事業(平成19から24年度、事業費20億円)、史跡永福寺跡復元事業(平成18から23年度、事業費12億円)などの大きなプロジェクトも展開している。これらの事業と本来の道路整備事業を効率的に、また、より柔軟に対応するため、受注設計及び工事監理を専門に行う担当の創設、外注システムの確立及び他部署他課での対応体制の確立などの検討を行う。			
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)		
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了					
評価結果	改善の必要性			評価結果	改善の必要性
A	有	・全庁的な組織編成の改変を行うとともに、執行体制の整備を図る。		A	有
課長名		道路整備課長 館下優三		部名・部長名 都市整備部 山内廣行	